

## 「文化芸術推進基本計画（仮称）」策定に向けて

### 「文化芸術推進基本計画（仮称）」に関する基本方針

#### （文化芸術と生涯学習のビジョン）の体系

#### 【1 基本理念】

- (1) 全ての人の「文化的に生きる権利」を保障し、町民主体の文化芸術活動を推進する。
- (2) 誰もが参加でき、連携・協働することで、心豊かで活力あふれる広陵町づくりに寄与する。
- (3) 文化芸術活動の主体は町民であり、自主性・自立性・自律性をもって主体的に活動を行う。

#### 【2 基本方針】

- (1) 誰もが文化芸術にふれ合える機会の創出
- (2) 子どもたち及び若者が文化芸術にふれる機会の拡充
- (3) 文化芸術活動、生涯学習活動を高めていく
- (4) 担い手を発掘し、後継者を育てる
- (5) 町民の自主的・主体的な文化活動を支援する仕組み、協働の仕組みの確立
- (6) 文化芸術活動の環境・場の整備（施設等の有効活用）
- (7) 新たな公民館像
- (8) 歴史資源・文化財の活用
- (9) 観光・産業、福祉、医療、教育等との連携
- (10) 広陵町らしさの発信（自然、歴史、文化、産業、活動）
- (11) 文化が育つしくみ（文化政策・文化行政）
- (12) 文化芸術による社会的課題解決への取り組みの推進

#### 【3 5つの原則】

- (1) 町民は、自主的・主体的に活動し、住民間・世代間のつながりの輪を広げる。
- (2) 町は、町民の文化活動・生涯学習活動を支援し、連携・協働により機会・環境・場の整備に努める。
- (3) 今後、再整備する中央公民館は、施設面（ハード面）では複合化及び多機能化の視点を持たせ、機能面（ソフト面）については、各施設との連携・ネットワークのもと、文化芸術推進基本計画（仮称）策定過程において議論する。
- (4) 町民は、まちの運営主体として財政を含め公共経営の視点を持つ。
- (5) 広陵町の文化芸術推進基本計画は、数値目標を導入し、推進状況を評価する。



#### 【計画づくりに取り組む視点（これまでの委員会での意見）】

- ① 町民は、町の運営主体として財政を含め公共経営の視点を持つこと
- ② 町の文化基盤である自然資源及び歴史資源を大切に、保全活用していくこと
- ③ 多くの町民の参加（年齢や障がい等の有無にかかわらず）により、多様で幅広い活動を生み出すこと
- ④ 推進にあたっては、広域的な視点に立ち（活動、鑑賞、発表、施設等）、相互交流を活発化すること
- ⑤ 中央公民館の再整備にあたっては、歴史資料館等との複合化を基本とし、町民誰もが集え、活用でき、必要とする多機能性を有する施設づくりをめざすこと
- ⑥ 文化芸術推進基本計画は、数値指標等を導入し、推進状況を町民の参加のもとに評価・検証し、必要に応じて見直していくこと



（次ページへ）

## 「文化芸術推進基本計画（仮称）」策定 要検討項目・内容

- **計画の大綱づくり：柱建て（章立て）、必要施策のグルーピング**
  - ・「ビジョン」の基本方針（12項目）をもとに、計画の柱建てを決める
  - ・計画の柱ごとに、必要な施策を洗い出し一覧化する
  
- **施策の主な担い手（主体）を設定する**
  - ・「多様な主体の参加・参画・協働による推進」の原則のもと、施策（の方向）ごとに主な担い手を検討する
    - （例）・町民：町民が中心に進めるもの（個人、文化芸術団体、事業者を含む）
      - ・協働：町民と行政が対等な立場で相互補完・協力して進めるもの
      - ・行政：広陵町行政が中心に進めるもの
  - 「◎：主たる担い手、○：協力・連携、分担する、△：参加する」に分類
  
- **施策の実施・実現時期を設定する**
  - ・各施策のおおよその目安となる実施時期・実現時期を検討する
    - （例）・短期：早期（概ね2年以内）に実施・実現すべきもの
    - ・中期：概ね3年～5年の間に実施・実現すべきもの
    - ・長期：概ね6年～10年の間に実施・実現すべきもの
  
- **計画の柱ごとに、成果指標を設定する**
  - ・施策の推進状況を把握するために、計画の柱ごとに数値指標等の設定を検討する
    - （例）・中央公民館や公共文化施設を利用する町民数（延/年）
      - ・福祉、教育・産業等との連携事業数
      - ・町民（団体）が主催した事業数 等々
  
- **計画の中で（計画づくりと連動して）、「中央公民館再整備（建替構想）」の概要・道筋をつくる**
  - ・建替に必要なソフト・ハード面を検討し、次年度からの推進体制へつなげる
    - （例）・公民館のあり方、活動や担い手、人材育成
      - ・多機能化、複合化の検討
      - ・施設規模の検討 等々
  
- **計画の進捗状況を検証・評価できる仕組みを設定する**
  - ・町は毎年進捗状況を公開し、広く意見を求めながら推進できる仕組みを検討する
    - （例）・「文化芸術推進白書」の発行

\*これらについて、第8回委員会以降順次検討し、本年度末に取りまとめる